

アップサイクル ワークショップ

着なくなった洋服でコースターをつくろう！！

ワークショップ台本

アップサイクル ワークショップ

着なくなった洋服でコースターをつくろう！！

アップサイクルとは

捨てられるはずのモノに、別の価値を持たせて、新しく生まれ変わらせること



皆さんこんにちは。
これからアップサイクルワークショップ着なくなった洋服でコースターをつくろうを始めていきます。

まずアップサイクルとは何かということですが、アップサイクルとは、捨てられるはずのモノに、別の価値を持たせて、新しく生まれ変わらせることです。価値を上げるものをアップサイクル、逆に価値を下げるものをダウンサイクルと言います。

アップサイクル



リサイクル



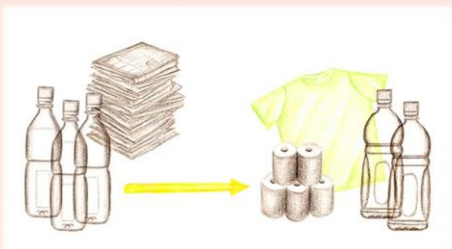
リメイク



その他にもアップサイクルと似た考え方がたくさんあるのですが、今日はリサイクルとリメイクについてご紹介します。

リサイクルとは

原料に戻し、資源として再利用する



まずリサイクルです。リサイクルとは、原料に戻し、資源として再利用することを言います。

リメイクとは

別のものに作り替えるが
より価値が高いものにする必要はない



出所: HILFFOET

次にリメイクです。リメイクとは、別のものに作り替えるところはアップサイクルと一緒にですが、違う点として、より価値が高いものにする必要はないということです。

捨てられる洋服からコースターをつくろう！



今日は、実際に捨てられる洋服からコースターを作っていきたいと思います。

①紐を3色選び、それぞれ1m測って裁断する



まずは、自分の好きな紐を3色選び、それぞれ1m測って切ってください。

②3本の紐で三つ編みする



次に、その3本の紐で三つ編みしていきましょう。
三つ編みの方法がわからなければ、近くに人に聞くか、インターネットなどで調べてやってみてください。

③布で牛乳パックを包み込むように貼る

端の部分は
しっかり貼ろう！



次に、紐にしなかった服の布部分で牛乳パックを包み込むように貼ってください。

特に、端はボンドが付きにくいので入念に貼ってください。

④三つ編みをステップ③で作った土台に貼る

内側からぐるぐると
巻いていきましょう



次に、三つ編みした紐を、先ほど作ったコースターの土台に円の中心からぐるぐると巻くようにして貼っていきましょう。

完成！



乾かしたら完成です。
お疲れ様でした。

まとめ

それでは最後にまとめに入ります！

洋服が作られるまでにかかる環境負荷

CO₂の大量排出



水の大量消費



端材などの排出

化学物質による水質汚染

出典：環境省「サステイナブルファッション」
ゼロリークエム&エス2016

実は、洋服が一着作られるまでに、とても大きな環境負荷がかかっています。二酸化炭素が単量に排出される上に、水まで大量に使われているのです。その他にも、端材が捨てられたり、化学物質によって川や海が汚れてしまっています。

一着の洋服が作られるのに ...

約2,300リットルの水が使われる



人間が生きるために必要な

920日分の水が一着に使われている



出典：環境省「サステイナブルファッション」
ゼロリークエム&エス2016

実際に、一着の洋服が作られるまでに、約2300ℓの水が使われています。これは、人間が生きるために必要な920日分の水に相当します。お風呂に入る水の量が約200ℓなので、約11～12杯の水ということです。

買われているが、着られていない服がたくさんある

1人あたり(年間平均)の衣服の消費・利用状況

購入枚数

約18枚



手放す服

約12枚



着用されない服

約35枚



出典：環境省「サステイナブルファッション」

そして、問題は他にもあります。たくさんの洋服が買われていますが、それが着られていないということです。こちらは1年間の1人当たりの衣類の消費・利用状況ですが、購入枚数18枚に対して、手放されている枚数が12枚、そして、着られていない服が35枚もあります。皆さんのクローゼットの中にも着られていない服がたくさん眠っているのではないのでしょうか。

手放された服は...

リサイクル
リユース

34%

処分
埋め立て

66%

多くの資源やエネルギーを使ってつくられた服のほとんどは再利用されずに捨てられている

出典：環境省「サステイナブルファッション」

手放された服は、処分や埋め立てが約66%です。多くの資源やエネルギーを使って作られた服の66%は再利用されずに捨てられています。

アップサイクルのメリット

☀️ ものを長く使えるようになる

新しい製品へとつくり変えたことによって
製品としての寿命が延び、長く使用できるようになる

☀️ 環境負荷を抑えられる

原料に戻す際の「溶かす」や埋め立てなどに必要な
エネルギーやコスト(お金・時間)が削減できる

こうした中で、アップサイクルはとても魅力的です。

アップサイクルのメリットとして、今回は2つ取り上げます。

1つ目は、モノを長く使えるようにすることです。新しい製品へとつくり変えることによって製品としての寿命が延び、長く使用できるようになります。2つ目は環境負荷を抑えられるということです。原料に戻す際の溶かす工程や埋め立てなどに必要なエネルギーやコスト(お金・時間)が削減できます。

SDGsとのつながり



つくる責任 つかう責任

ターゲット
12-5

2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。

SDGsでは、ゴール12番のつくる責任つかう責任に当てはまります。

最後に

サイズが合わない服やもう着ない服などで
家でもアップサイクルしてみてください！



みなさんもぜひサイズが合わない服やもう着ない服などでアップサイクルしてオリジナルの製品を作ってみましょう！